

平成 23 年度科学・技術関係予算についての意見募集結果
(24113：地球観測衛星網の構築)

ご意見の概要	件数
このまま推進すべき	20件
改善・見直しをした上で推進すべき	2件
推進すべきではない	0件
その他	0件
合計	22件

【主なご意見】

中国などアジア新興国では経済発展に伴い深刻な大気汚染が発生しており、その越境汚染により日本も重大な影響を受けつつある。オゾンやエアロゾルはアジア地域での気候変動にも重要である。国立環境研究所などで、すでに日本で光化学オキシダントの増加が起こり、越境汚染の影響の可能性が高いことを示しており、国際協調による取組みが必要である。その科学的根拠となるデータ取得に静止衛星による大気汚染物質観測が有効である。韓国でも強力で計画が進められようとしているが、日本がリーダーシップをとれるよう推進すべきである。

地球環境変動観測ミッションとしては、東アジアにおける越境大気汚染などを実時間で直接的に観測する静止大気汚染観測衛星を我が国が世界に先駆けて実現することが極めて重要であると考えられるが、現在の施策の概要などの書きぶりからは「地球環境観測衛星」の構想からそのようなアジア大気汚染への戦略的取組みの視点が脱落している。「施策の目的及び概要」などの項にそのような内容を追記すべきものと思われる。